

教科名	音楽	科目名	器楽（3年次）【4単位】	
授業形態	音楽総合室、音楽室、音楽練習室での個人練習及び個人指導が中心であり、実技、発表による授業を展開			
選んでほしい生徒	音楽大学受験や保育系への進学を考えている者が望ましい。楽器演奏に興味があること。			
科目の目標	器楽に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。			
身に付けてほしい学力	各自のレベルに合わせた課題により、演奏技術の向上を図る。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】 個人の各楽器に合わせた課題練習</p> <p>【2学期】 1学期の課題を踏まえた新たな課題の研究及び練習</p> <p>【3学期】 1年間のまとめ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・個別練習及び指導者によるレッスンにより、演奏技術を高める。 ・音楽系学校への進学対象者は、受験課題の指導を中心に行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習のまとめをする。 	
評価の観点・評価方法	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	・音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	・感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫ができる。	・自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身に付けている。	・自己や他者の表現を聴きとり、相互に批評することができる。
	上記の観点を踏まえ、実技試験、提出物、授業態度等を総合的に判断して評価する。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 実技系の授業内容が多いので、休まず授業に出席して楽器演奏の技術向上に努めたい。 2 演奏では自分なりの表現を大切にしたい。 3 定期考査では、発表会形式の実技試験であるため、発表時間を計算し、計画的に練習して演奏技術を高めておきたい。 			
教材費	それぞれの楽譜代など			
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1 何かの検定につながることはない。 2 音楽大学受験や保育系のピアノ実技のための学習が主であるが、それ以外の生徒の選択も可能であり、楽器について幅広く学習する。 			